

奪還ならず



7月15日、世界ボクシング評議会(WBC)スーパーフェザー級タイトルマッチ12回戦が、米カリフォルニア州イングルウッドで行われ、同級1位の三浦隆司選手が、王座奪還をかけて、王者ミゲル・ベルチェルト(メキシコ)に挑みました。当日は、後援会などから20名が試合会場に駆けつけ、「ゆめろん」では約200名がテレビ観戦で応援しました。

試合は、第一ラウンドで三浦選手がダウンを奪われ、相手ペースで試合が進みますが、5回に反撃、ボンバーレフトがボディーを捉えると「ゆめろん」の観衆から大歓声が上がります。

三浦選手は粘り強く王者を追撃し、得意の左が繰り出されると、どよめきが起こります。しかし王者も距離を保って反撃を抑え込もうとします。

試合は最終12ラウンドまでもつれ込みましたが、決着がつかず判定に、0-3の判定で王座奪還はなりませんでしたが、三浦選手最後まで諦めずに立ち向かっていく姿に、たくさんの温かい拍手が送られました。



①増沢から牛沢方面 ②長面橋から長面方面
③宮橋付近の町県道 ④白鳥橋付近(長面) 16日



宮の目付近の状況 (撮影:近藤大樹さん) 16日

7月16日・23日 2度の大雨被害

7月16日、秋田県内は朝から昼にかけて激しい雨に見舞われ、山本地域振興局の観測データによると、この日の累計雨量は上岩川154mm、下岩川100mm、琴丘131mmを記録する豪雨となりました。

この雨により三種川が増水、氾濫し、長面地区と達子・館ノ下地区に避難勧告が、大町地区に避難準備情報が発令され、長面地区と達子・館ノ下地区では地域住民が避難場所である自治会館に避難しました。

また、下岩川地区の複数個所で三種川にかかる橋が冠水したほか、長面地区では、県道が冠水し一時通行止めや付近の住宅で床上浸水するなどの被害を受けました。

また翌週22日からの記録的な大雨により県内各地で住宅や農地への浸水が相次ぐなど甚大な被害をもたらしました。当町でも23日に三種川の氾濫により長面地区に避難勧告、達子・館ノ下地区で避難準備情報が出されました。



お見舞に駆けつけた金田法務大臣へ説明する三浦町長 (7月26日)